



この『油分濃度低減装置』は、国際標準化機構の環境規格 (ISO14001) 認証取得工場で製造しています。

総合排水処理装置用 油分濃度低減装置

OIL CONCENTRATION REDUCTION EQUIPMENT

(エアーコンプレッサドレン専用)

ドレン水を総合排水処理装置で処理されている
事業所様へ

本装置はエアーコンプレッサのドレンをマイクロバブルによって、油分濃度を大幅にさげて、総合排水処理装置にかかる負担を軽減し、メンテナンス費を大幅に削減する装置です。尚、マイクロバブルによって浮上した油は回収装置によって自動的に回収されます。



GD1300-1



GD220-1

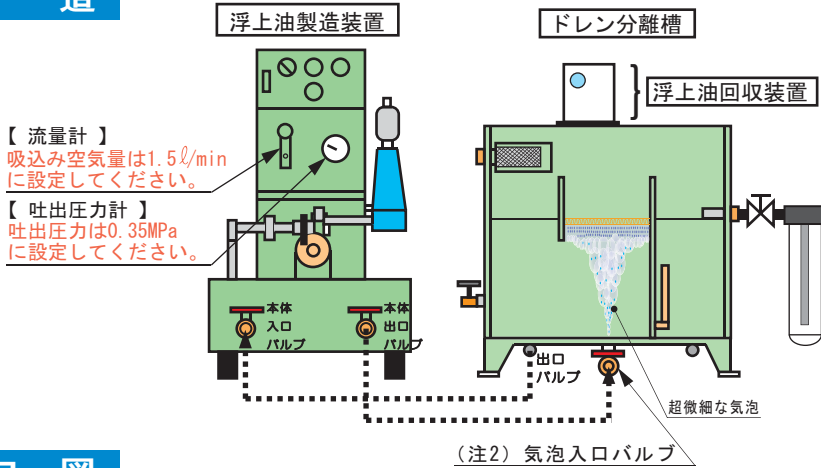
特長

1. 微細な気泡をドレン分離槽内で発生させ、効率よく油を浮上させることによって、浮上油はほとんど除去され、総合排水処理装置内に流入します。
2. 処理後の油分濃度は処理前の油分濃度と比較して1/2 ~ 1/5位まで低減されます。
3. 総合排水処理装置へ排水する前に処理水の確認をすることを目的とした浮上油確認槽が装備されています。

仕様

適用 コンプレッサ 総出力数	油分濃度低減装置 形式	システムの構成		設置スペース (mm) W×D×H	空重量 (kg)	
		浮上油回収装置付分離槽 形式	浮上油製造装置 形式			
220kW以下	GD220-1 (AC100V)	DST-B125-1 (125ℓ)	AC100V 50/60Hz	FP100-1 (AC100V 50/60Hz)	1700×500×1100	110
440kW以下	GD440-1 (AC100V)	DST-B250-1 (250ℓ)			2200×500×1100	140
880kW以下	GD880-1 (AC100V)	DST-B500F-1 (500ℓ)			1950×500×1540	220
1300kW以下	GD1300-1 (AC100V)	DST-B1300F-1 (1300ℓ)			2750×900×1290	410

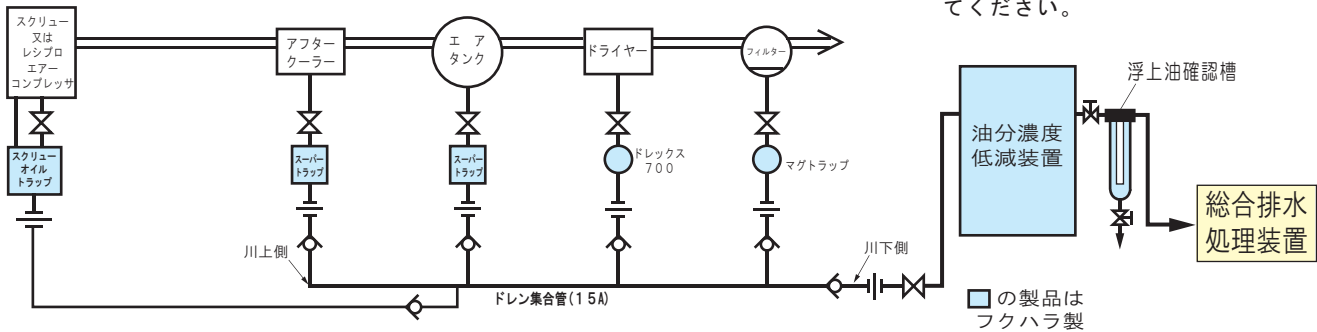
構造



DST-B500F-1

(注2) 気泡入口バルブは必ずゲートバルブを装備して下さい。
ボールバルブ、ニードルバルブ、グローバルブ等は気泡の発生調整がしにくいのでご使用を避けてください。

フロー図



回収油分量の算出例

	(A) 年間平均油分濃度からの算出例	(B) 年間平均油消費量からの算出例
条件	適用コンプレッサ総出力数 880kW 年間ドレン量：196m ³ /年 (稼働時間：250日/年、10時間/日 負荷率：0.8) ・年間平均油分濃度：300ppm ・導入後の油分濃度：60ppm	75kW ・吐出空気量：744m ³ /h 油消費量：4cm ³ /h 75kW×12台 (880kW相当)
回収油分量は：	$196\text{m}^3/\text{年} \times 240\text{g}/\text{m}^3 \text{ (ppm)} = 47,040\text{g}$ $= 47\text{kg}/\text{年}$	年間油消費量は： $4\text{cm}^3/\text{h} \cdot \text{台} \times 12\text{台} \times 2500\text{h}/\text{年} \times 0.8 = 96,000\text{g}$ $= 96\text{kg}/\text{年}$ 油消費量50%がドレンに含まれると仮定すると48kg/年となります。

油分濃度低減装置を導入前は約47kg分の油分が総合排水処理装置内に付着もしくは処理対象でした。

油消費量の一例 150kW：5cm³/h ・ 75kW：4cm³/h ・ 55kW：2.2cm³/h ・ 37kW：1.9cm³/h

感動をもたらす
省エネ、環境関連機器をデザインする

FK 株式会社

本社・工場 〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 1-15-5
 TEL 045(363)7373(代表) FAX 045(363)6275
 URL <http://www.fukuhara-net.co.jp>
 E-mail: eigy@fukuhara-net.co.jp

ご用命は